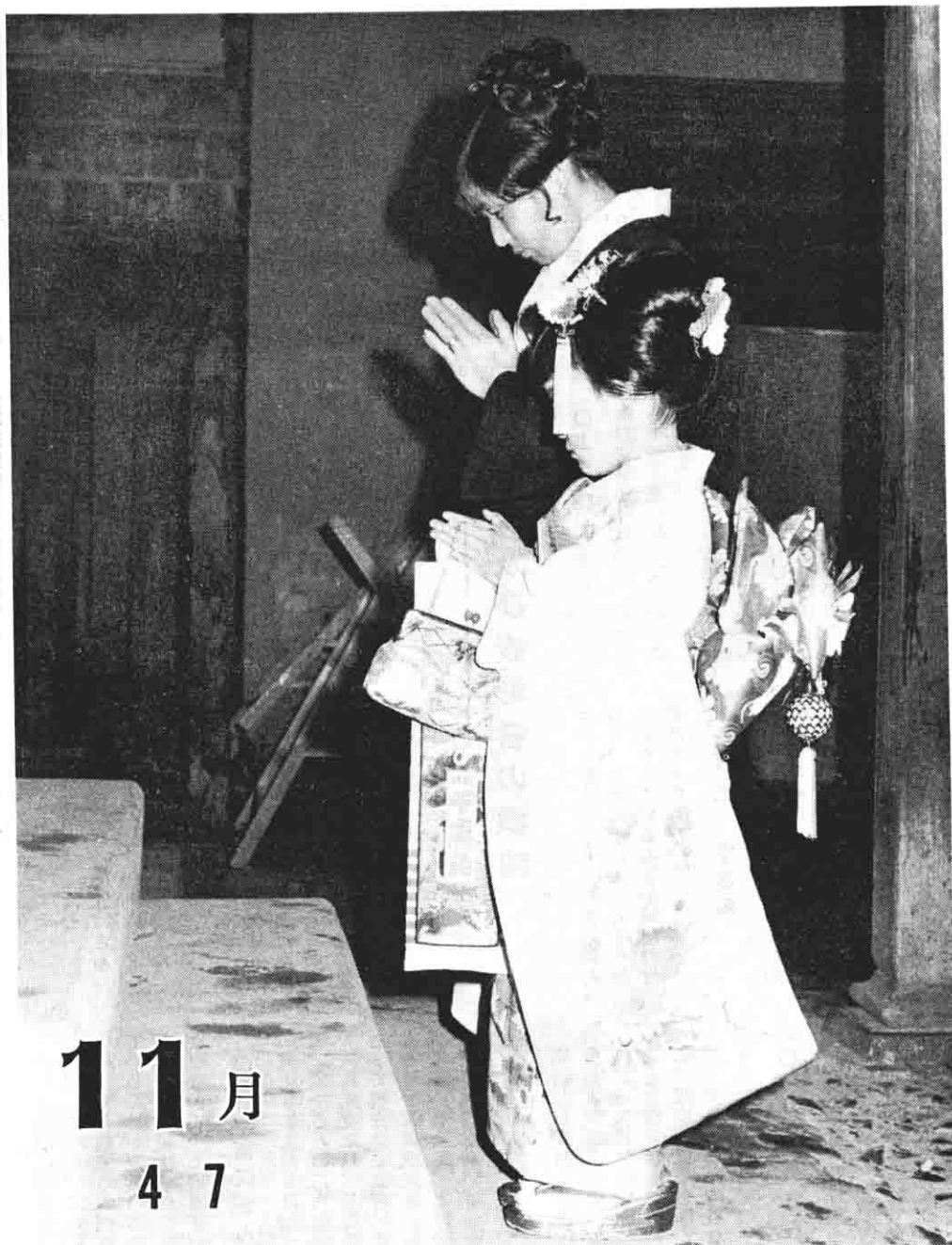


八郷伝報

町の人

11月1日現在 前月比
 男 13,713 △ 9
 女 14,122 △ 3
 計 27,835 △ 12
 世帯数 5,770 △ 3



すこやかな成長を祈願

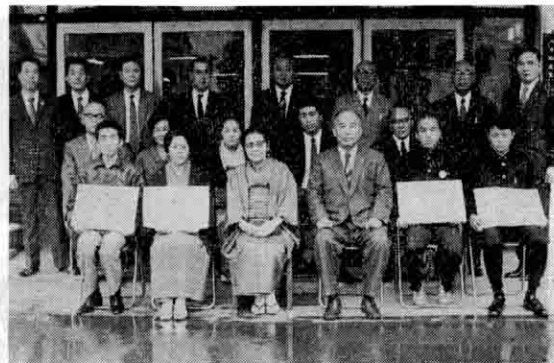
十一月十五日、「七五三」をお祝いする行事が各地区で行なわれましたが、神社などには千歳あめをもち、きれいに着飾った子どもたちが、お父さんやお母さんとおともにすれ、すこやかな成長を祈願する姿が数多く見受けられました。(八坂神社)

11月
47

ことは顕彰3名、表彰4名 「文化の日」に4回目の顕彰式 顕彰者、3部門に1名ずつ

菊地顕彰基金

「顕彰審査委員を囲む受彰者」
前列左から吉田さん、萩原さん、町長の右へ吉野さん、上田さん、中列左から二番目飯島さん、その右へ鈴木さん、桜井さん（前列中央菊地さん）



菊地四郎翁さん夫妻の一千万円の寄付によって「菊地四郎顕彰並びに社会福祉基金」が設立されましたが、顕彰基金の三部門の顕彰式が文化の日の十一月三日、町長ほか顕彰審査委員それに寄付者の菊地テウ(ウ)さんをむかえ、午前十時から役場議場で行なわれました。

ことしは「よい子」「よい母」「よい勤労青少年」に顕彰者各一名ずつの三名、それに善行のあった表彰者四名を加えた計七名が選ばれ、それぞれ賞状と金一封がおくられました。なお町では先におくられた一千万円の寄付に対する感謝の意味から席上菊地さんに記念品をそえて感謝状をおくりました。

明るく住みよい社会建設にいちじるしい功績のあった人たちを顕彰するこの顕彰式は、菊地

さん夫妻の二百万円の寄付で設立されたもので、四回目をむかえました。今回選ばれた顕彰者

と表彰者は次の人たちです。

◎顕彰者

「よい子」

大字小幡一、六八一

上田 謙二(二)さん

「よい母」

大字月岡四三

萩原 照子(四)さん

「よい勤労青少年」

大字瓦谷三、四四八

吉田 孝(三)さん

◎表彰者

「よい子」

大字山崎九六二

吉野 久男(三)さん

「よい母」

大字大増一、一六七

飯島 嘉江(三)さん

大字瓦谷二、四九六

鈴木 ふさ(三)さん

「よい勤労青少年」

大字大増一、五二七

桜井 和男(四)さん

顕彰を受けた吉田さんたちは「これまでしてきたことが選考の対象となったことは意外です。この顕彰を機会にさらにがんばっていききたい」とよろこびを語っていました。

顕彰及び表彰者の横顔

○上田 謙二さん

昭和32年3月7日生 父政二氏 土浦工高一年 父、祖母の三人家族

中学生のとき母と死別、そんな不幸な境遇に負けず病気がちな祖母の看病をつづけながら勉強にはげみ、学生としてしっかりと生活を送っているということが顕彰の対象となったもの。

○萩原 照子さん

昭和3年6月27日生 農業 息子さん二人と三人家族

二年前天と死別、さらには今年祖父とも死別。しかし、子どもをしっかりと教育するには自身自身に勝つことであるという

○吉田 孝さん

昭和24年6月16日生 会社員 母と二人家族

父、祖父とも早く死別、経済的な理由から進学を断念。病弱な母をかかえ一家の柱として働らいています。対人関係もよくまじめな生活ぶりが顕彰の対象となったもの。

○吉野 久男さん

昭和34年2月18日生 父光男氏 園部中二年 父母、兄弟三

人の五人家族

長欠児解消に非常な関心をもち協力している。さらにはそれらの生徒の勉強の面倒までもみていることが表彰の対象となったもの。学校生活面でも堅実な生活をおくっています。

○飯島 嘉江さん

大正9年1月5日生 農業 母、息子さんの三人家族

夫に先立たれ、その後女手ひとつで農作業に従事、子どもをしっかりと成人させる。世間づき合いもよく、よい母として近所の評判も高い。

○鈴木 ふささん

明治45年5月7日生 農業 若夫婦と孫二人の五人家族

○桜井 和男さん

昭和23年6月27日生 クリーニング業 父母、妹の四人家族

昭和四十三年当時、青年団活動が低迷していたころ、自ら幹部として立派に青年団を再建。現在も地区の青年たちで組織している野球チームの一員として活躍。友人の信頼も厚く、生活面をおくっていることが表彰の対象となったもの。

臨時議会から

「菊地顕彰並びに
社会福祉基金」
を設置

七議案が可決成立する

菊地顕彰基金の設置及び処分に関する条例の改正など、七つの議案が上程された第六回臨時議会は十月二十三日午前十時から役場議場で開かれ、慎重な審議が行なわれた結果、原案どおり可決されました。可決された議案のあらましは次のとおりです。

菊地四郎顕彰並びに
社会福祉基金の設置

菊地四郎さんの一千万円の寄付にともない、菊地顕彰基金条例を全面改正し社会福祉基金を加えるもので、議会の議決をえました。

一般会計補正予算

一般会計予算の補正をするもので、歳入は地方交付税、寄付金など一千九十五万六千円。歳出のおもなものは、交通安全協会八郷支部助成金二十五万円、菊地四郎顕彰並びに社会福祉基金特別会計繰出し金一千七十万六千円などです。

特別会計補正予算

菊地四郎顕彰並びに社会福祉

基金特別会計予算を補正するもので、歳入は一般会計繰入金。歳出は社会福祉報償金七十万六千円、積立金一千万円などです。

「西光院探索車道開設工事」

「南中学校管理室改築工事」

請負契約する

いずれも、請負契約の締結に

「小幡地区簡易水道」着工する

来年四月から本格的給水

きれいな飲料水の供給と消火せんへの備えが身近な問題として取り上げられているおり、町では下青柳地区に引きつづいて、四番目の簡易水道「小幡地区簡易水道」を計画し、このほど、着工のはこびとなりました。

「小幡地区簡易水道」が完成しますと、大字小幡地区の一八八戸に減菌したきれいな飲料水が供給されることになります。すでに大字小幡稲荷山に六五メートルの深井戸のさく井工事も

終り、配管工事に入りました。このあと、各家庭の配管工事に

ついて、競争入札の結果、西光院探索車道工事（契約金一千四百六十万円）は茨城町の東陽開発KKに、南中学校管理室改築工事（契約金一千二百万円）は石岡市の興民建設KKに、議会の承認を得て決定しました。

新しい教育委員に田上氏

前委員であった大字大増の富田泰雄氏が十月八日で任期満了となったため、あたらしく大字青田の田上嘉雄氏の任命につき、議会の同意を求め議決を得ました。

月、四月から各家庭への給水が開始される予定です。

小幡地区簡易水道の
あらまし

布設区域

上宿、中宿、下宿、細内、香取、堀の内、横町、稲子

加入戸数

一八八戸

本管総延長

六、三〇〇メートル

一日当給水量

二四一・五トン

総工事費

三、八三三万四、〇〇〇円

なお、給水は「一の沢」の高位に一五〇トン貯水するタンクを置き、自然流下によって給水します。

12月10日は総選挙

十二月十日は衆議院議員の総選挙の日です。町では、午前七時から午後六時まで二六の投票所で投票、午後七時三〇分から即日開票が行なわれます。政治への正しい関心と判断をもち、清く明く一票を投じ棄権のないようにしたいものです。

季節の
しあわせ

七・五・三

十五日は七五三のお祝い。つまり三歳、五歳、七歳になったお子さんのお祝いで、生後発育が心配された子どもがよくこれまで育ってくれたと思う親心と、今後どうか丈夫でいい子になってくれるようにと願う気持ちが、江戸時代から伝えられたもののようです。この行事の起こりは五代將軍徳川綱吉の子、徳松の祝いが始まりだといわれています。

一般的には、男の子は三歳と五歳、女の子は三歳と七歳のとき成長を祝う行事で、それぞれの儀式として氏神さまにお参りするが例ですが、歴史的には三歳の祝いは着物の付けヒモをとって帯をしめ始める女の子のお祝い。五歳は男児の「袴着（はかまぎ）」ともいい、はじめて袴をつける祝い。七歳は男女児とも幼児期の終わりとして重んじられた年令で「紐直（ひもなおし）」の祝いといって帯のしめはじめを祝うこととされてきたようです。

お年寄りに

あたたかいプレゼント

社会福祉基金から九五名に

町では、このほど七〇才以上の寝たきり老人九五名にお見舞の意味をこめて敷きフトンとかけフトンをおくりました。これは、大字柿岡の菊地四郎姉さん夫妻の一千万円という多額の寄付で設けられた社会福祉基金によっておくりされたものです。

社会福祉基金は毎年十二月二十五日の「クリスマスの日」に町内に住む七〇才以上の寝たきり老人と重症心身障害者に慰問金を支給するのですが、これは特別、寝たきり老人には慰問金のかわりにフトンを支給することになり、ひと足早いクリスマスプレゼントとなったものです。フトンは、助役をはじめ町の職員が家庭を訪問し寝たきりでいるお年寄りの枕もとにおくりとどけたいへんよろこばれました。

菊地さん夫妻の尊い善意にこたえるためにも、これらの

お年寄りたちが少しでも早く元気になられることを祈りたいものです。

フトンは寝たきり老人の枕もとにおくりとどけられた



英霊と心の対面.....

遺族800余名が靖国参拝

町では、毎年遺族全員を対象に靖国神社を参拝してきましたが、ことしも十一月八日から十日までの三日間にわたって実施したものです。遺族たち

町の遺族会員八〇〇余名が英霊の眠る靖国神社をおとずれ参拝しました。

は、それぞれ用意されたバスに便乗し、朝早く町を出発しました。午前十一時近く靖国神社に到着、遺族たちはさっそく昇殿

し、兄弟や子と心の対面をしたわけですが、昇殿し黙とうをする遺族たちの姿からは、戦争に対するにくしみと同時に、遠い

ありし日の思い出にひたっている様子がうかがわれました。なお、町では靖国神社参拝を記念して遺族全員に記念品をおくりました。

靖国神社を参拝する遺族会員たち



みんなの健康

子どもとカゼ

冬の子どもの病
気といえば、カゼ

が第一位を占めます。別表は昭和四十六年五月分の病気の状況ですが、やはり呼吸器の病気が多くなっています。

一年中カゼをひいている子どもも少なくありませんが、カゼをひいても体力があり短期間で元気になる子どもでもありたいものです。

年令別の病気の状況 (昭和46年5月分調)

	計	その他	不慮の事故中毒等	先天異常	骨及び関節の異常	皮膚病など	生殖器系	消化器系の病気	カゼ・肺炎など	心臓病など	精神病	目・耳の病気	伝染病及寄生虫
一未 才満	161	4	4	19	2	23	4	84	—	—	—	9	12
一六 才	658	3	32	5	4	41	2	130	339	8	1	42	51

に強くなるわけですから、外気浴と日光浴をすることです。外気浴も一日一回ということ、また、日光浴は冬こそたいせつです。それは、地上に達する紫外線が減るうえに日差しも弱いからです。それなのに冬は太陽にあたる機会が少なくて、少ないので戸外生活の実行と日光浴に気を配ることがたいせつです。子どもが外で元氣いっぱい遊ぶことが病気を予防することは、健康を増進して子どもの毎日の生活の中で起こるいろいろな環境の変化にすばやく適応できる力を作り上げることに繋がります。育児にはこのころと体を強く育てる分野があるわけです。

親はわが子に対しては健康な体とこころを育てたいと願っていることでしょう。ただおおかさん方が栄養的な食事と病気の予防をするために、こころを心配するだけでは決して達成できません。たん練をし、とりわけ自然の中で体をきたえることが必要です。そこで、冬でも風の子、太陽の子で育てることがたいせつなことになります。

新生児期には体温の調節ができず、寒さに弱いのですが、この時期を無事にすめば体温の能力が飛躍的に強くなるので、乳児期後半から寒さ

下青柳で総合竣工式

事業の完成を祝う

田園都市事業

農業の理想的な姿に第一歩をしるした下青柳地区で、田園都市建設事業の総合竣工式が十一月十一日盛大に行なわれました。竣工式は、センターに県田園都市協会長をはじめ多数の来賓をむかえ、各戸二名ずつの集落民が出席、午前十時から開始され事業の完成を祝いました。

竣工式では、まず経過報告があり、センター運営委員、高橋信一氏から、くわしい事業の報告がありました。引きつづき感謝状の贈呈式があり、事業の基金として一〇万円を寄付された、下青柳出身で現在埼玉県在住の高橋秀信氏に下青柳集落から、町の協会長から田園都市建設事業推進委員全員に、それぞれ記念品をそえて感謝状が送られました。このあと、来賓の人たちがあいさつに立ち、事業のもつ意義や今後の村づくりに期待したいことなどがのべられました。町の協会長のあいさつのあらましは次のとおりです。

「たくさんの仕事を成しとげ基盤ができたことに対し感激している。あとはみなさんの仕事を最後まで成しとげるため、団結した姿を今後ともばしてほしい」

土地基盤整備事業を皮切りに、センターの建設、住宅の改善、そして共同霊園の建設と、長い間にわたる皆さんの事業を実施してきた田園都市建設事業もいよいよ終了したわけですが、まだ意識の改善という大きな目標が集落民には残されています。これまでも成しとげてきた仕事をふりかえり意欲をもちつづけて、りっぱ

12月3日

町営猟区解禁むかえ

猟友会総会開く

猟友会総会がさる十月二十五日、八郷公民館で開かれました。来賓として猟友会の石岡支部長と幹部派出所長、富田義氏をむかえ、町の猟友会員約一〇〇

下青柳田園都市建設事業竣工式



竣工式の席上あいさつする町の協会長 — 田園都市センター —

な村づくりを行なっていくってほしいものです。なお、町では下青柳集落をモデルとして、田園都市事業を全域に波及させる方針で計画を練っています。

名が出席して開かれたもので、決算の承認と事業報告それに予算、事業計画などが決められました。また、総会には町長が出席しましたが、日ごろ猟区の監視や案内などに力を貸してくださっているみなさんのお骨折りに対してお礼のことはをのべ、さらに今後のご協力をお願いしました。なお、総会の席上、支部発足以来五年間、支部長とし

て活躍、現在も役員として活躍くださっている植竹義弘氏に町の猟友会から記念品をそえて感謝状が送られました。

ことしも、いよいよ十一月から狩猟が解禁になります。町の猟区は十二月三日から開設になりますが、町の猟区にはすでに一〇〇羽近くのキジを放鳥し、開設後にも相当数の放鳥を予定しています。このようなところ

税の豆知識

最近、企業では人手不足を反映して主婦のパート・タイマーを求めることが多く、主婦の方も企業の求めに応じて働く方が非常にふえています。

主婦のパートと税金

ところで、主婦のパート収入に対する所得税の取扱いは、所得税は一年間の所得金額から配偶者控除、扶養控除、基礎控除などを差し引いて計算されます。その配偶者控除とは、配偶者に一定額以上の所得があるときは控除することができません。したがって、夫の所得から配偶者控除が受けられる妻の所得の限度は年間一五万円です。パート収入の場合は年間の給与額三万八、〇〇〇円に相当しますのでパート

から、たくさんのハンターたちがつめかけるものと予想されます。猟友会員のみなさんには、監視や案内などに活躍していただくことになりましたが、ハンターは事故が起きないよう法規は十分守っていただきたいものです。また、みなさんも解禁になったということを常に心がけておい

収入がこれより少ないとき、つまり一カ月平均二万六、五〇〇円より少ないときは配偶者控除が受けられることになります。

また、収入がもっと多くなり年間三八万二、〇〇〇円以上になりますと収入から給与所得控除を差し引いた残りが基礎控除額である二〇万円を越えま

すので、配偶者控除が受けられないことはもちろん、パート収入に対しても所得税がかかるということになります。

なお、三万八、〇〇〇円以上三八万二、〇〇〇円未満のときは、配偶者控除は受けられませんが所得税はかかりません。

その他くわしいことをお知らせになりたい方は税務課でおたずねください。

ことしも「富有柿」を献上 柿振興協議会代表4名 宮内庁、東宮御所を訪れる



町では、阿陛下と阿殿下に町の特産物「富有柿」を賞味していただくため、十一月十日、柿の献上をしました。

柿の献上は、振興協議会（会長藤代遠氏）の代表四人（大字須釜、広瀬桂一郎氏、大字小幡、渡辺弘氏、大字宮ヶ崎、大槻清氏、大字真家、本多福松氏）の協力で行なわれたもので、当日は助役と町の職員を含めた六名が宮内庁と東宮御所をおとすれ、七・五キログラムの箱詰四箱を献上しました。献上した柿は一個四〇〇グラム前後、色つや形も特に吟味したものです。

皇室への柿の献上は町の恒例の行事となりましたが、来年も

柿の献上をした前列左から広瀬さん、大槻さん、渡辺さん、本多さんの代理長谷川さん

阿陛下と阿殿下に賞味していただくため、献上を行なう予定で

公民館図書

新しく九八冊

貸し出し期間

一カ月に

公民館図書に新しく九八冊の図書が加えられました。新しい図書の内訳は児童図書四二冊、一般図書五六冊です。貸し出し期間もこれまで二週間であった

のを一カ月と延長しみなさんの便をはかりましたので、ぜひご利用ください。なお、公民館ではたくさん本をみなさんに利用していただくため希望図書を受けつけています。こんな図書を購入してほしい、というご意見がありましたら公民館に申し込んでください。（一般、児童図書とも半分を掲載、残り半分は来月掲載します）

老人大学卒業生

はじめての同窓会

卒業してから十年目をむかえた第一回目の老人大学の卒業生が、十月二十九日はじめての同窓会を開きました。

入学しており、これまでにたくさん卒業生を送り出しています。第一回の卒業生は二五名でしたが、参加したのは七名。同窓生は酒をくみかわしながら、大学生のころの話題に時間のたつのも忘れて話がはずんだということです。そして、また会うことを約束、記念撮影をして散会しました。

児童図書			
書名	著者		
ペルと銃声	太田政巳	みんな黙れ (1)・(2)	梶山季之
リングとタイコと水どろぼう	もんぺの子同人	五瓣の椿	山本周五郎
あすはいつくるか	柚本象吉	季節のない街	〃
鉢の木釣狐	今西裕行	柳橋物語他	〃
子どもの祭り	芳賀日出男	榆家の人々	北杜夫
心の底をのぞいたら	なだいなだ	途中下車	〃
アリの世界	栗原正二	砂の女	安部公房
生きている化石のなぞ	丸岡秀子	今昔物語ふあんだじあ	杉本苑彦
ひとすじの道	シドニー・ローセン	裏切りの夜	大藪春
それでも地球はまわる	藤川正信訳	獣を見る目で俺を見る	〃
瀬田の唐橋	徳永貞一郎	北海の博徒	島村喬
火星への道	瀬川昌男	万葉恋歌	永井路子
死ぬ瞬間	E・キューブラーロス	詩集青年の譜	池田文作
人類のはじまり	佐野建二	プレイ・ラブ	奈良林祥
裏庭の科学	碓井益雄	恍惚の人	有吉佐和子
野鳥の招き方	橋本英正	田中角栄伝	戸川伊佐武
かがくマジック	小林実	日本列島改造論	田中角栄
空気の重さをはかるには	板倉聖宣	愛をめぐり断想	中村真一郎
じしゃくあそび	小林実寛	すばらしい結婚	読売新聞婦人部
千羽鶴を折りましょう	山形一	帰りこぬ風	三浦綾子
物語アイヌのくらし	四辺一	体当り人生論	加藤諦三
一般図書		生命ある限り	藤野綾子
色魔 (1)・(2)・(3)	梶山季之	ユダヤの商法	藤田田
		彦左衛門外記	山本周五郎

園 部 で 移 動 役 場

地区民30名出席する

道路、開発などに質問が集中



移動役場で質問に答える
町長 — 園部公民館 —

もたれました。

まず、園部地区公民館長熊岡清流氏があいさつ、出席した各課長の紹介がありさっそく質疑に入ったわけですが、質疑のあらましは次のとおりです。

問「山崎、宮ヶ崎地内の通学道路はせまく、かなり傷んでおり、雨の降った日などはドロドロの状態である。現在の段階で舗装は可能かどうか」

答「舗装は四メートル以上が基準となる。道路は永久的なものであるから道路改良をしてからでないと無理。しかし、山崎、宮ヶ崎地内の通学道路は計画路線に入っており、地主さんの了解が得られれば可能である。なお通学道路は優先的にすすめる方針である」

問「現在の町の観光開発の状況はどうなっているのか」

答「観光の占めるウェイトが大きくなっている。町としては湯袋を観光の拠点として全域を農業観光中心に進めていきたい。国民宿舎も建設することになり、これは町の観光のシンボルとなるはずである。

来年度は観光果樹関係にも予算がまわらせる見通しである」

問「ゴミの収集車を購入するこ

とになったということだが、運用はどのようにするのか」

問「これからの農業を町としてはどうに進める方針か」

にあいさつし移動役場を閉会しました。

「消防ポンプ」

八郷公民館で引渡し式

火災シーズンむかえ、町では消防自動車ポンプ、可搬式動力ポンプを三台ずつ購入し、それぞれ第四、第五、第六分団に配属しました。

「引き渡し式」は、消防団役員と分団員をむかえ、十一月十三日八郷公民館で行なわれ、このあと、さっそく「百目鬼」で放水試験を行ないました。



出荷最盛期の

「筑波しめじ」

「筑波しめじ」が最盛期をむかえ、生産者（組合員75名、鈴木守之助組合長）は、出荷にあわただしい毎日をおくっています。おもに東京方面に出荷されますが、好評でこしは3キログラム詰3万5,000箱あまりが出荷されるということです。現在、町のしめじ生産者のハウス面積は1,500平方メートルを越え、関東でも指通りの生産地となっています。出荷は来年の1月いっぱいまで続けられます。



新しく指定された文化財

新しい文化財

「聖徳太子浮足の像」など11

浮足の像」など有形文化財七つ、大字太田の「いぬくす」など天然記念物四つの

町指定の文化財に新しく一が加わり、町指定文化財は合計二四になりました。指定にあたっては文化財調査委員のくわしい調査、研究が行なわれ、それそれ十一月七日に開かれた教育委員会で正式に指定を受けたものです。

今回指定を受けたのは、大字柿岡の如来寺にある「聖徳太子

区 分	指 定 件 名	所 在 地	申 請 者 名
有形文化財(彫刻)	聖徳太子浮足の像	大字柿岡如来寺	住職 井野秀雄
" (書跡)	隠元禅師の書2幅	" 上宿	吉田 伊平
" (絵画)	仏画3幅(対)	" 善慶寺	住職 石淵光潭
" (工芸)	筑波山碑1基	大字小幡宝蔵寺	代表 吉田真人
" (")	宝きょう印塔1基	大字半田	関 和彦
" (絵画)	仏画1幅	大字太田	大槻 祐夫
" (彫刻)	仁王像2体	大字高蒲沢薬師堂	代表 鈴木聡明
天然記念物	太田のいぬくす1本	大字太田	藤岡 信義
"	上青柳の大王松1本	大字上青柳	羽生 元信
"	須釜のいとひば1本	大字須釜	小林平右エ門
"	中山の五葉松1本	大字小幡	小松崎 政



お年寄りに写真

全日写八郷支部

全日本写真連盟八郷支部(代表太岐口泰順氏)ではことしも「敬老会」に出席したお年寄りを撮影したカラー写真をプレゼントしました。

写真撮影は柿岡、恋瀬、瓦会、小松の四地区で行なわれた「敬老会」に出席した八〇才以上のお年寄り九八名を対象に行なわれたものです。はがき大に引きのばされたカラー写真は白い台紙にそそえられプレゼントをまつお年寄りひとりひとりにおくられました。



岡本せつさんに特別賞をおくる代表の太岐口氏

社会教育に……

ボンとカラーテレビ

嶋田観光商工会長の嶋田昭彦さんから八郷公民館に20型カラーテレビ(一七万円相当)がおくられました。

八郷町出身の嶋田さんは、現在嶋田総業グループの会長として財界で活躍されています。その嶋田さんが、たまたま八郷公民館をおとすれ、設えられているテレビを見て、「これでは社会教育をしていくのに不便でしょう」とさっそくプレゼントしてくれたものです。

社会福祉センター

にはステレオ

社会福祉法人理事長の佐賀正雄さん(住所、新治郡玉里村)からセパレートステレオ一式(一六万円相当)が、また、大字上林の吉川孝明(同)さんからテレビ(二万円相当)が、社会福祉センターに寄付されました。いずれも、社会福祉に貢献したいと寄付されたもので、センターを利用する人たちにたいへんよろこばれています。

瓦会保育所父母の会

子どもたちにストープ

瓦会保育所父母の会一同(会長、川田正氏)では、子どもたちに暖かい冬をむかえてもらいたいと石油ストーブ二台(三万二千円相当)を寄付

されました。また大字柿岡の大久保芳太郎(同)さん、同小幡丈夫(同)さん、同木下静雄(同)さん、同来栖辰造(同)さんの四名のかたがたから、柿岡保育所に児童遊具用のヒューム管二本(二万円相当)が寄付されました。

交通安全協会

新しい支部役員決まる

石岡地区交通安全協会八郷支部のあたらしい役員四七名が決まりました。

あたらしい役員は、さる七月の総会における規約の一部改正にともない選任されたものです。

このため、これまで町の安全施設の設置の面などに活躍されてきた三三名の役員は退任されました。安全協会では、退任されたみなさんに記念品をそえて感謝状をおくりました。

あたらしい役員は次のとおりです。

新しい役員

支部長 関野信平

副支部長 大塚利善(小幡)和田幸蔵(関鉄)

監事 塚谷信重(柿岡) 中田虎雄(大増)

事務局長 木崎 真

【柿岡地区】

分会長 橋本重三郎 理事 小

【小幡地区】

分会長 飯島章 理事 田中博

評議員 白井源祐 飯田新治郎

中島定右衛門

【戸部地区】

分会長 長谷川末吉 理事 金子洋久

評議員 金子幸吉、山田昭武、広瀬一男

【林地区】

分会長 藤岡一元 理事 菊地猛

評議員 吉川勇 吉田貞美

島田征一

【小松地区】

分会長 中村冠 理事 上林豊

評議員 桜井教佳、斉藤正、羽生弘

【退任された方】

金子正(柿岡) 永井旭(宮ヶ崎)

鈴木定雄(関鉄) 須藤泰次(柿岡)

舟橋保(〃) 野内和夫(〃) 足立光(〃)

高橋唯郎(小幡) 藤田慎一(〃)

藤田喜一(〃) 小林昭(須釜)

中島茂人(加生野) 鈴木利雄(吉生)

軽部直(上曾) 塚田馨(小屋) 飯田要(飯岡)

磯山市太郎(太田) 藤岡道雄(〃) 大岡茂(中戸)

国谷巖(野田) 奥村清(瓦谷)

島田幸一(〃) 真家民三(真家)

長谷川俊平(〃) 島田哲夫(山崎)

大槻清(宮ヶ崎) 鈴木豊重(下林)

額賀勇三(〃) 市塚雄一(片岡)

関口長司(根小屋) 菱沼幾盛(月岡) 田上好一(青田) 鈴木梅太郎(菅浦沢)



人間たれしもが欲のないものはありません

ことに、飲食の欲などは本能です。個体保存の本能と種族保存の本能とは人間の生きていく上に必要条件であって、欠くことのできないものです。別のことはで言えれば利己心の発揮であると言えます。この利己心があるこそ、人類は現在のように発展してきたのです。

金、名譽、地位、権力のごときも、ものの追求もすべて利己心の発動によるものです。利己心があることによって、人類の過去においていろいろなものが発明され発見されて、生活が便利になり偉大な事をなしとげてきたのです。このたいせつな利己心も無制限に発揮されると、家庭をこわし社会を破り自己を傷つけ、国家的に考えると戦争

利己心

公民館長 田上 嘉雄



まで起こし人類の生存をも危うくするものです。たとえは、金の事にしても他人より一円でも多く得ようとすると事も利己心の発動です。そのためには、他人より多く働かなければなりません。そのため、子どもの教育も家庭の健康も考えずに働くとするは、経済的に

よう。利己心の発動は必要欠くべからざるものですが、その程度が問題です。結局、われわれ人間の心の持ち方でありましよう。「過ぎたるは及ばざるにしかず」という古語があります。何事によらず程度がたいせつです。

イキ等もお互い利己心を発揮するからです。会社側が労働者の生活を考え、また、労働者が会社側の経済状態を考え、お互い話し合って利己心をセーブすれば、ある程度防げる問題もあるでしょう。夫婦間においても同じだと思います。妻は夫の事を、夫は妻の事を考え、利己心の無制限発揮をつつしんで、経済的にも身体的にも心理的にも満足な生活ができるようにしたいものです。

今日日本人は本心に心の入れ替え時期にきているように考えられて仕方ありません。経済第一主義から心の生活へ変わる時がきているのではないのでしょうか。お互いに考え合っていき、ゆとりのある生活をしたいものです。

労働者と会社の対立、ストライ



有線放送

冬期プログラムに

有線放送が十一月二十日から冬期プログラムに変更になります。このため、放送開始時間はこれまでと同じ午前五時、終了時間が三〇分早くなり八時三〇分になります。なお、毎週水曜午後三時から「三時のミュージック」第二、第四日曜日の「町内だより」の時間には「保健

婦さんに聞く健康「管理」をこれまでどおり放送します

昭和47年度 冬期有線放送電話プログラム

自 11月20日：至 3月31日

一 八 郷 有 放 一

時 刻	放 送 内 容	備 考
5:00~6:30	ラジオ放送 (NHK第1)	
6:30~6:50	町内だより ①役場・農協関係ほか	
6:50~7:15	通 話	
7:15~7:25	ラジオ放送 (IBS)	日曜のぞく
7:25~9:00	通 話	
9:00~9:15	ラジオ放送 (NHK第1)	ニュース・時の話題
9:15~10:30	通 話	
10:30~10:45	休 け い	
10:45~11:55	通 話	
11:55~12:30	ラジオ放送 (NHK第1)	天気予報 ニュース ひるのいこい
12:30~13:40	通 話	
13:40~13:55	ラジオ放送 (IBS)	ラジオ農業講座
13:55~15:00	通 話	
15:00~15:15	休 け い	三時のミュージック (毎週水曜日)
15:15~17:00	通 話	
17:00~17:05	ラジオ放送 (NHK第1)	ニュース
17:05~18:55	通 話	
18:55~19:15	ラジオ放送 (NHK第1)	天気予報・ニュース
19:15~20:10	通 話	
20:10~20:30	町内だより ①役場・農協関係ほか	保健婦さんに聞く健康管理 (第2・4の日曜日)

国 体 式 典

アナウンサー募集

茨城国体の開会式、閉会式の式典放送を行なうアナウンサーを、一般の方から募集しています。応募要領などは次のとおりです。

- 選考人員 男女数名
- 選考対象 教職員、学生、主婦、その他
- 条 件

(1)県庁に一時間以内で到着で

11月の納税

国 保 税 第3期分

きること

- (2)県実行委員会が指定した講習会、研修会等に出席できること
- (3)経費は県実行委員会が旅費と若干の研修費を支給

○選考方法

県実行委員会式典企画委員会で選考し、結果については応募者全員に通知する

○応募の期限

昭和47年12月16日必着とする

○応募先

水戸市三の丸一丁目

五番三八号

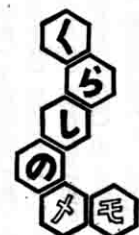
県庁国体局競技式典課長宛

○応募のさいの提出資料

履歴書一通(学歴、職歴のあとに出生後の居住地名およびアナウンス経験の有無を記入すること)
その他くわしいことについては広報課でおたずねください。

〃 時 間 の 励 行 〃

参加者は開会の五分前に必ず集合するようにとめよう



煮 物 の と ふ た

料理法のなかにはふたのいない鍋の使い方も多いものです。青いものを青くゆで上げるとき、また「ハスはカリふたいらす」などといういい伝えもあるように、ハスの歯切れのよさを残して煮あげるには、鍋にふたをするのは禁物です。

また、いための料理は、材料のもつ水分を外に出さず手早く火を通すのが目的ですから、強火で短時間で仕上げののがおいしくするコツで、ふたはいらぬわけですね。煮物でも、照り煮とか炒り煮というようなものなら、ふたをするとかげつかせるおそれがありますので、ふたをとって煮るほうがよく、たとえば、金びらとかいり鳥、金とんや魚の照り煮などもふたのいらない煮方です。

ふたをせむ必要とするのは、いも類の煮付や乾物類の煮含めなど、あるいはいためてからむし煮にするような、長時間かけてとろ火で煮る料理には、忘れずにふたをしなければなりません。